

# ショップ&おしゃれ達人に聞いた

## 3. 人気スタイリストが撮影で愛用しているタイツは?

「ウォルフォード」のMAT OPAQUE 80

「ホールマーク」の黒タイツ



マリソル10月号より(撮影/岡部晴美)

「上質なタイツを履くと、  
脚に自信がもてます」

渡辺いずさん  
Ikuko Watanabe

タイツにも一歩ありの渡辺さん。「いいタイツは見た目も履き心地も全然違います。ウォルフォードは撮影でもよく使いますが、脚がきれいに見える、モデルにも好評。それなりのお値段はしますが、ネットに入れて洗濯すれば何度も履けて、結局はお得です。タイツ¥7,500/ウォルフォード



マリソル11月号より(撮影/藤岡ももこ)

「柔らかな肌ざわりと  
ちょうどいい厚さが魅力」

森 慶子さん  
Keiko Mori

六本木の老舗靴下屋さん「マーガレット」に長年通っている森さん。「今季私が撮影用に使用した黒タイツは、すべて「ホールマーク」。素材感がよく、ウエストのあたりも柔らかい。オールマイティに使えるデニール数も気に入っています。お手ごろな値段も魅力です。タイツ¥1,200/マーガレット(ホールマーク)



「ピエール マントゥー」のMICRONETTE

「ピエール マントゥー」のCOTTON



マリソル12月号より(撮影/ササキヨシヒロ)

「マイクロネットは  
脚を細く見せる効果も」

田内玲子さん  
Reiko Tanai

「素材感と厚さのバランスが素晴らしい」と田内さんは「ピエール マントゥー」を絶賛。「ふだんは厚手を履くことも多いですが、華やかなシーンにはこのマイクロネットがおすすです。足首に少しためるように履くと、脚がきゅっと締まって見えますよ」。タイツ¥3,100/ピエール マントゥー プティック 青山店



マリソル11月号より(撮影/ササキヨシヒロ)

「少し透け感があると  
脚もきれいに見えます」

村山佳世子さん  
Kayoko Murayama

プライベートでもタイツのおしゃれを楽しんでいる村山さん。「撮影が一番よく使うのは、どんな履とも合わせやすい、「ピエール マントゥー」のプレーンなタイプ。テカりのないマットな質感が上品なコットン素材のものを愛用しています」。70デニール。タイツ¥5,250/ピエール マントゥー プティック 青山店



## 4. おしゃれ達人が今、狙っているタイツはこれ!



「マルニ」の  
ストライプ柄ニットタイツ

ジュゼッペ サノッチェ デザイン  
/ ヴィチーニ PR

寺田恵美さん

「今季初めて購入した「マルニ」のタイツが大活躍しそう。グレーの履にはグレーグラデーションで遊び、裏の履にはピンクレッドをさし色にして温かみを添えたいです。今年はオープントゥやストラップ使いなど、抜け感のあるデザインの靴が多いので、あえて色や柄を見せてタイツとのコンビネーションを楽しみたい」。タイツ¥16,800/マルニジャパン(マルニ)



「ピエール マントゥー」の  
「Irish」UVA

「ステイタスタイル」  
/ ヴァック株式会社 代表取締役

小林美砂さん

「柄タイツなら、ピエール マントゥーの「Irish」UVAがお気に入り。パープルのライン使いや、トレンドのチェックがとっても今季らしくておすすめです。柄ものはそれなりに難易度が高いけど、これはシンプルなコーディネートのお助け役として重宝しそう。プーティと合わせると可愛いと思います」。タイツ¥6,825/ピエール マントゥー プティック 青山店



「ピエール マントゥー」の  
「Irish」Nero

SAMURAI マネージャー

佐藤悦子さん

「「ピエール マントゥー」のタイツはどれも厚手なのに軽い、絶妙なバランスが脚を美しく見せてくれます。なかでも、縦ラインが強調される「Irish」はヒールと相性がよく、上品なブルー系Neroは黒い靴とも合わせやすい。パレンシアガやランパンなど、ベロア素材のクラシックなパンツと合わせたいですね」。タイツ¥6,825/ピエール マントゥー プティック 青山店